

## 世界中の人にチャンスを与える。



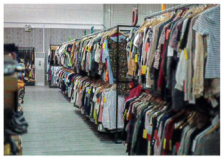
写真のレギュラーに加え、約100名の準レギュラーがお店を回している

### 「古着deワクチン」の自立支援 障がいがあっても活躍できる世界に

日本リユースシステムが手がける「古着 de ワクチン」は、専用回収キット(衣類などを詰める強化紙袋)を1つ購入し、衣類などを詰めて送ることで、ポリオワクチンを5人分寄付することができる画期的な商品。取り組みの拠点であるカンボジア直営店では、ポリオの後遺症による障がいのある方や、かつてはゴミ山で暮らすストリートチルドレンだった若者たち約100名が働いている。ソディさん(32)もその1人だ。

「古着 de ワクチン」のカンボジア直営店では、商品を1点販売すると、ポリオワクチンを1人分寄付できる仕組みです。やりがいのある仕事をしながら、私のようにポリオで苦しむ子どもを減らすことができ嬉しです」

とはいえ仕事はハード。日本から届く大量の衣類などを細かく選別しながら1,000平米もの広大な店舗に約5万点の商品を陳列・販売。カンボジアではあまりニーズのない防寒具などは、モンゴルをはじめとする国や地域に再輸出している。スタッフは不自由な手足をかばいながら広い店中を歩き回るので、慣れるまでは一日終わると疲労困憊に。ソディさんも、障がいのある右足が痛むことがあったという。



約5万点の商品はタグをつけて管理され、1週間で入れ替えを目標にしている

「私たちは障がいのあるなしに関わらず、心の底から働いて自立したいと望んでいる人だけを採用しています」

と語るのは、カンボジア直営店を統括する日本人スタッフの田村絵美里さん。スタッフ採用には厳しい面接と一定期間のインターンシップを設けている。

「障がいがあるからこそ、人の何倍も努力しよう」という気持ちがある人を採用しています。その気持ちがあれば、従来カンボジアでは働き口のなかった障がい者でも、お金を稼ぎ自立することができるのです。最初は大変ですが、現場を十分に学んだ後はマネジメント側に回り、働けるような仕組みも。厳しくも愛を持って、彼らの挑戦を応援していきたいですね」  
高品質な日本の衣類などは人気が高く、一般客以外にも卸売業者も買付にくるといふ。社会貢献とビジネスを両立させる日本リユースシステムの挑戦に、カンボジアでも注目が高まっている。



田村絵美里さんとソディさん

## 「古着deワクチン」のキットづくりを刑務作業に!

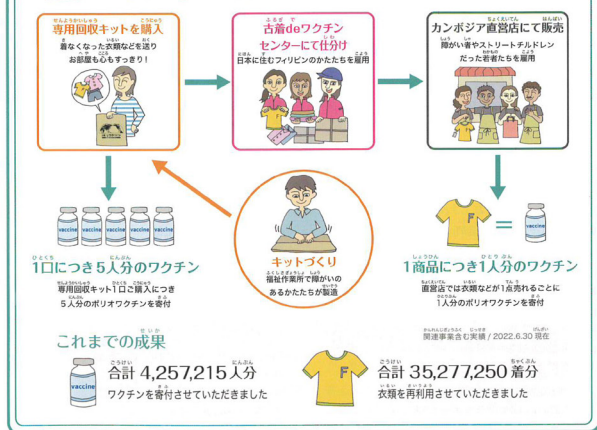
### 日本リユースシステム株式会社

#### ソディさんからのメッセージ



以前の職場では、スキルを身につけても障がいがあることでチャンスが巡って来なかったり、1つ失敗をすると「やっぱダメね」と他のスタッフに責められたりして悔しい思いをしてきました。それでも私は「古着 de ワクチン」でチャンスをつかむことができました。皆さんも諦めないで欲しい。必ずいつかチャンスが巡ってきます!

#### 「古着deワクチン」のしくみ



#### 「古着 de ワクチン」コールセンター

注文専用電話番号：0120-126-316 / お問い合わせ電話番号：0120-206-225

受付時間：9:00～17:30(土日祝も受付)

Vol.19  
2022 秋

チャンス!!  
Chance!!

「絶対にやり直す」という覚悟のある人と、それを応援する企業のための求人誌

インタビュー  
お笑い芸人  
徳井健太さん

特集  
作家・映画監督

元加津子さん



少年院・留置場・拘留所・刑務所内でも面接可能!  
全社員元引受可能、社宅・寮完備!  
新規5社を含む全24社掲載!!

有効期限  
2022/11/30